

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆大企業の1～3月景況感、3四半期連続プラス イラン情勢悪化前の調査

・内閣府と財務省が発表した1～3月期の法人企業景気予測調査によると、大企業全産業の景況判断指数(BSI)はプラス4.4だった。3四半期連続のプラス。調査は米国・イスラエルとイランの軍事衝突前の2月15日時点。中東情勢の悪化による原油価格の急騰などを反映していない。前回の2025年10～12月期はプラス4.9だった。

◆国家備蓄、石油元売りに随意契約 3月下旬～4月上旬にも流通

・政府による石油備蓄の放出を巡っては石油元売り企業などが持つ民間備蓄分の流通が16日にも始まる見通し。国が持つ国家備蓄は随意契約で引き渡す。一般競争入札は採らないことで手続きを簡単にし、開始は3月下旬から4月上旬を見込む。国が法律で石油元売りなどに在庫を多めに持つよう求める民間備蓄は101日分あり、ここから15日分を出す。

◆家計にのしかかる原油高、負担増年2～3万円も 保険料軽減薄れる

・イラン攻撃に伴う原油価格の上昇が家計の重荷になるリスクが出ている。民間エコノミストは1家族あたり最大で年3万6000円、支出が増えると試算する。エネルギーや食料の支出割合が高い低所得者層は打撃が大きくなる。政府が進めてきた保険料負担の軽減効果も打ち消される可能性がある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆マンション短期転売対策、41社が導入意向 不動産協会調査

・不動産協会は2025年11月にまとめたマンションの投機的な短期転売を防ぐ対策について、分譲マンション事業を手掛ける41社が導入する意向を示したと明らかにした。価格が高騰する都心マンションでは売却益を狙った短期転売の動きがみられたことから、実需層が買いやすい環境づくりを各社に促す。

◆東京ガス、商業施設の冷暖房を10%省エネ 設備運用代行にAI活用

・東京ガスは企業向けの冷暖房設備運用代行サービスで人工知能(AI)を活用する。電力使用量、気温に応じて暖房に使うボイラーや冷房に使う冷凍機などを最適に使い分ける。電気・ガスの使用量を従来サービスと比べて約10%減らす。東ガスは2002年から冷暖房設備の運用代行サービスを手掛けてきた。

◆吉野石膏、タイガーボード・関連製品など値上げ

・吉野石膏は石膏ボードを含む全ての石膏関連製品およびソーラトン製品の価格を6月1日出荷分から改定すると発表。値上げ幅は20%。2023年に原料石膏やエネルギー価格の高騰を受け価格改定を実施したが、以降も原材料価格の高止まりや「物流の2024年問題」に伴う運賃上昇、生産設備の維持費増大などが続き判断。

《 注目商品 》

■TOTO、シャワーバーなど4点がiFデザイン賞を受賞

・TOTOは同社のシャワーバー「G selection shower」など4点が、「iFデザイン賞2026(iF DESIGN AWARD 2026)」を受賞したと発表。今回で13年連続の受賞。「G selection shower」のほか、ワンピース便器「AURORA(オーロラ)」、ウォシュレット一体形便器「WASHLET G5B」が受賞。



■パーパス、タッチレスセンサーライト搭載のレンジフード VDX/AJDシリーズ

・業界初のセンサーに手をかざすだけでLED照明を点灯・消灯することができるタッチレスセンサーライトを搭載したオリジナルレンジフード。回転着脱式の丸型オイルトレイにより清掃性を高めた。粉体焼付塗装や常時換気を標準で搭載。



■TOTO、造作風洗面化粧台に新アイテム・新色を追加

・洗面ボウル、水栓金具、カウンター、鏡、キャビネットを組み合わせて造作したようなデザインを実現できる洗面化粧台「drena(ドレーナ)」を4年ぶりにモデルチェンジして発売。洗面台下に新たに「オープンキャビネット」をラインアップ、効率よくモノを出し入れできる。

